

こっこめ通信 10 2019

「ヒロ君の置き土産」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

どこで暮らしていても、生きもの達の様子から季節の変化を感じることは多いものですが、その姿をタイミング良く撮影するのは容易ではありません。そこで今回は、元スタッフのヒロ君が残していった貴重な写真を紹介する「珍しいシーンも多い」と「八丈島カワセミ事情」のお話です。

珍しいシーンも多い



2019年5月1日 八丈島横瀬

ザトウクジラは水深の浅い場所にも現れるのでこんなシーンに出会うこともあります。

岩礁の上に釣り人の姿が見えますが、クジラには気がついていないようです。

至近距離でこんなシーンに遭遇したら驚きと同時に感動で鳥肌がたってしまいます。

これから春にかけて、八丈島では陸上からのザトウクジラ探しに挑戦するのも楽しみの一つです。



息継ぎのために水面に顔を出したアオウミガメ



クロマツの種を器用に取り出して食べるイスカ



ハクセキレイだと思って通り過ぎてはいけない
亜種ホオジロハクセキレイ



目つきが少し怖いケリ

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島カワセミ事情

実物を見たことがない人でも知っている野鳥の代表格、カワセミ。漢字では「翡翠」と書きます。文字通り、ヒスイのような美しい色を身にまとい「飛ぶ宝石」と言われているのもうなずけますね。

カワセミに出会うと一瞬で心躍り、その美しさに見惚れてしまうバーダーが全国にたくさんいる事は容易に想像できます。そんな美しいカワセミに心奪われた（少し大げさかな？）バーダーは、八丈島にもいます。今年も秋になり八丈島にカワセミがやってきました。

そこで今回は、本土とは少し違う八丈島のカワセミ事情をご紹介します。

☆カワセミってどんな鳥？



ブッポウソウ目 カワセミ科 カワセミ *Alcedo atthis*

図鑑では体長17センチとありますが、これは長い嘴を入れたサイズで、体の大きさはスズメ程度です。枝などに止まっている姿は驚くほど小さく見えます。カワセミは留鳥または漂鳥として本州以南に分布し、北海道では夏鳥とされています。

八丈島では、ゴールデンウィークの頃と初秋から晩秋にかけて見られる事が多く、ごく稀に真冬の記録もあります。

☆どこにいるの？

八丈島でも、カワセミは水辺で観察されます。しかし、八丈島の水辺は、本土のそれとは大きく様子が違います。本土では「清流の鳥」のイメージが強いカワセミですが、八丈島では海沿いでも見られます。



2015年4月9日 八重根漁港



2014年12月18日 鴨川河口



2013年4月13日 神湊漁港

もちろんホテル水路や、鴨川など淡水域での記録が多いですが、それに負けないくらい海岸のタイドプールや漁港など、海水域でも観察されています。海で小魚を狙って食べている様子も見られます。本土では海水にダイブするシーンにはあまり遭遇しないかもしれませんが、間近でそんなシーンが見られるのは、島ならではのですね。

バードウォッチングを始めたばかりの頃、カワセミが見たいと言った私に先輩バーダーは「ホテル水路か、大潟浦に行ったらいいよ。」と、教えてくれました。実際の所、私は淡水域と同じくらいの確率で海岸や漁港でカワセミに出会っています。今年も、9月11日に大潟浦でイソヒヨドリに追いかけていたカワセミに遭遇しています。

そうやって1週間程私達を楽しませてくれた後、気付くと姿が見えなくなる八丈島のカワセミなのでした。

《過去にカワセミが観察された場所》



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。前回9月8日は台風の影響で中止になり、26日に解説員が単独で実施しました。

八丈植物公園季節調査（2019年第9回）参加者・VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			32	チヂミザサ	花	16	ホルトノキ	実
1	アオツツラフジ	花	33	テリハノブドウ	実	17	マサキ	若い実
2	アオノクマタケラン	実	34	トウバナ	実	18	モッコク	実
3	アキノノゲシ	花	35	ノコンギク	花	シダ植物		
4	アシタバ	花	36	ハキダメギク	花と実	1	アラゲヒメワラビ	
5	アメリカスズメノヒエ	花と実	37	ハチジョウアザミ	花	2	イシカグマ	
6	イガガヤツリ	実	38	ヒナギキョウ	花と実	3	オオイタチシダ	
7	イヌタデ	花	39	ヒメクグ	実	4	オオタニワタリ	
8	イワニガナ	花	40	ヒメムカシヨモギ	花と実	5	オニヤブソテツ	
9	ウスベニニガナ	花と実	41	ヘクソカズラ	若い実	6	カニクサ	
10	ウリクサ	花と実	42	ヘラバヒメジョオン	花	7	タチクラマゴケ	
11	オオアレチノギク	花と実	43	ホソバツルメヒシバ	実	8	タチシノブ	
12	オオバコ	花と実	44	ママコノシリヌグイ	花と実	9	タマシダ	
13	オニタビラコ	花と実	45	メヒシバ	実	10	トラノオシダ	
14	オヒシバ	実	46	メリケンカルカヤ	花	11	ナチシケンシダ	
15	カラムシ	花	47	ヤブマオ	実	12	ナンカイイタチシダ	
16	キツネノマゴ	花	木本			13	ノキシノブ	
17	キランソウ	花	1	アオキ	若い実	14	ハチジョウカナワラビ	
18	クグガヤツリ	実	2	イタビカズラ	実	15	ハチジョウシダ	
19	クズ	花	3	イヌビワ	実	16	ハチジョウベニシダ	
20	コゴメガヤツリ	花	4	オオバヤシャブシ	実	17	ヒトツバ	
21	コシロノセンダングサ	花	5	オオムラサキシキブ	若い実	18	ヘラシダ	
22	コセンダングサ	花	6	ガクアジサイ	実	19	ホシダ	
23	コニシキソウ	花と実	7	カラスザンショウ	実	20	ホラシノブ	
24	コミカンソウ	花と実	8	シチトウタラノキ	花	21	マメヅタ	
25	ザクロソウ	花と実	9	シマクサギ	花	22	ミゾシダ	
26	シチトウスミレ	実	10	スダジイ	実と虫こぶ	23	ヤマイタチシダ	
27	セイタカアワダチソウ	蕾	11	テイカカズラ	実	24	ワラビ	
28	センニンソウ	花	12	トベラ	実	今回はシダ植物 24 種を含む 89 種の植物を観察しました。芝生の上をウスバキトンボが多数飛び交い、秋を感じさせてくれました。		
29	タチスズメノヒエ	花と実	13	ハゼノキ	実			
30	チチコグサ	花と実	14	ハチジョウキブシ	実			
31	チチコグサモドキ	花と実	15	ヒメユズリハ	若い実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ザトウクジラ」にスポットを当ててみたいと思います。



ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae*

最近、八丈島の周りには冬になるとザトウクジラが回遊してくるようになりました。車で海沿いの道路を走っていて見かけることもあります。

写真は、今正に、背中を丸めて垂直に潜っていくところの直前のザトウクジラの姿です。こんなシーンを陸にいて見られるのは島民の特権？

英語の「humpback whale」や日本語の「座頭鯨」は、背中を丸めたこの形から連想したもののようです。

意外にも体が柔らかいことがよくわかりますね。（T.K.）

2019 八丈ビジターセンター 10 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	7	8 寒露	9	10	11	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14 ガイドウォーク	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク 特別行事 「八丈富士裾野ハイキング」	21	22	23	24 霜降	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「護神山公園自然観察会」
27 ガイドウォーク	28	29	30	31		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
10 / 13 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 15名

秋の特別行事 「八丈富士裾野ハイキング」

環境省が主唱する全国・自然歩道を歩こう月間に合わせて、八丈富士の裾野を歩きます。
10 / 20 (9:30～16:00) 小学生以上 (小学生は保護者同伴)
フリージア祭り駐車場 集合・解散 参加費: 50円 定員: 15名

八丈学講座 「護神山自公園自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は護神山公園を歩きます。
10 / 26 (13:30～15:00) 中学生以上
旧町役場裏駐車場 集合・解散 参加費: 50円 定員: 15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土曜、日曜、及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2019.10.1 第221号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888

編集後記

私たちの仲間の一人が仕事の都合で島を離れました。今月号は主に彼が残してくれた写真で構成しました。(T.K.)